

航空技術者へ 151人精励誓う

中日本航空専門
学校で入学式

中日本航空専門学校(関
市迫間)の入学式が7日、



航空機の前集まって写真を撮る新生たち。関市迫間、中日本航空専門学校

同校で行われた。航空産業への就職を志す151人が整備士や空港のグランドスタッフなどを目指して勉学のスタートを切った。

新生は航空整備科86人、航空生産科15人、エアポートサービス科50人で、中部地方を中心に全国から集まった。留学生は中国出身の2人を受け入れた。

式では、1日付で就任した中村寿志校長が、建学の精神「技術者である前に良き人間たれ」を紹介した上で「目標とする未来に向かって努力を積み重ねてください」と式辞。新生を代表してエアポートサービス科の山口健介さん(18)が「人間性豊かな技術者を目指して自己を磨き、勉学に精励します」と誓いの言葉を述べた。

式後、新生は実習用の航空機の前で記念写真を撮るなどして決意を新たにしていた。
(高井博文)